京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

株式賣買手續（五）

株式小僧

▲買建

一買建は將來騰貴の御目算あるより當中末の三期中御都合に任せ取引するの目的を以て其安直を買付けらるゝ儀に候

要するに株式相場は人爲的よりも常に大勢に支配せらるゝを正則とするが故に若しも不當の下落あらんか何れの時か恢復の期を見るべく又た他株券との比較上その不權衡を示すもの特別の原因を有せざる以上は自ら復舊の時あるべく將た市場變調を呈して所謂逆鞘の趨勢なるも現株買得の目的を以て三期中の安直を是とする場合もなきにあらず殊に現下如何なる價額を稱するに拘はらず經濟界の非常問題を豫知して其昂騰を期する事なきを保せず即ち之等數種の商機は皆以て買建に適切なるものに有之候

▲轉賣（賣解）

一前項御買建の後更に御妙考相立られ御手仕舞即ち現株引受の手數を略し時價を以て轉じ賣解くを申す儀に候

轉賣を必要とする場合亦頗ぶる多し而かも當初安價に買建たるものなれば豫想の好機熟し而して其の勢の到底すゝ處最早期日內に格別の事あらざるを察するか或は他方に資金の流用を感じて一時之を不用と爲すか將た今日之を持續せんより更に他日大下落の時を豫知する等皆以て此の轉賣の機に合するものなるべし

▲賣建

一賣建と反對の形勢に接し時價割高にして將來下落の御見込ある場合に初めて賣付けらるゝ儀に御座候

賣建は買建と同樣初めて市場に賣付けんと欲するものなれば經濟界の關係は正に前者と反對ならざるべからず即ち市場現在の株券が不相應なる高直を示せるか將た類似株券に比して其當を失し所謂暴騰を以て目するか若くは現株所有者が相場の頂點に達したるに乘じ三ケ月中適宜の期月を豫期して之を實際を渡さんと欲する等の場合に應用すべき一良法なり。

歐亞連絡と外客

鐵道院にては安奉線鐵道の竣成期に迫れるにより木下營業部長を歐都に派して歐亞鐵道連絡に就て協議せしむる所あり今亦西部管理局の下田船舶課長を朝鮮に派遣して關釜連絡設備に就て調査せしむる所ありコハ極東と歐洲の交通設備に資せんとするのみならず之によりて年々米國より歐洲に到る遊覽客をして我國及び西比利を經由せしめんとするにあり此點に就ては露國と我國と利害を一にするが故に連絡協定の如きも露國は敢て浦鹽經由を以て我朝鮮經由と對抗する策を採らず哈爾賓乃至長春において我鐵道線路と圓滑なる連絡を圖り賃銀の界限は我と同額となすことに同意したり此において鐵道院は來年度を期し新に二艘の關釜連絡汽船を建造するのみならず下關陸岸設備に對して改良工事を施す計畫を起し既に其豫算を改良費中に繰入れたり蓋し米國より年々歐洲に向つて旅行する遊覽客は少なくも百五十萬多きときは二百萬に上り隨つて此等の遊覽客が歐洲に散ずる旅費は莫大なる額に上り其三分の一の遊覽客を我國に吸集するも我國益は非常なるものなり尤も米國より我國及亞比利亞を經由して歐洲に至るさ米國より直に歐洲に到るは其間の時日において非常なる相違あれども旅行は米國人一般の嗜好娛樂にして其一たび日本を經由して歐洲に到るが如きは直に交際社會の好話柄となるべく隨つては歐亞連絡鐵道に對しては廣軌鐵道問題の解決如何に拘らず財力の許す限り急速に其設備を整ふる方針なりと云ふ

和歌募集

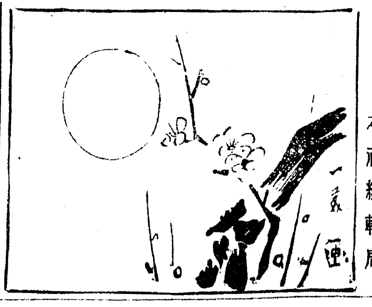
勅題「寒月照梅花」

選者 九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日

本社編輯局



文苑

◎骸骨

碌々庵

靑白い「死」と云ふ馬に乘つた死白色の骸骨が響き渡る聲で怒鳴り出した

俺は人間社會で日を送つて居た時分は惡事が有れば其の次には必ず善事が來ると思つた、幸福を得れば將來には必ず此より好い幸福が來ると思つた、そして其の最後の幸福の來た時に、永劫なる我事業をなそうと思つたが、然し次の日、次の時は、俺を墳墓に運んだそして俺は何事も仕出かさず腐るが如く死んだ。

殘念だ…其れで世の中の奴等に醉生夢死の鎖をなげ掛て「明日、明日」と叫ばして永遠、沈默なる墓に眠らせてやる。

へ、ゝッ！どうだい。

俳句

△祖翁忌芳詠六十三章甲乙逆列

朝々の風は小寒しちる紅葉　悟竹
京の鐘里に聞ゆる小春かな　如壽子
舌鼓打子愛らし玉子酒　同
眞帆片帆海に波なき小春哉　思遠
山里や人影絶てちる紅葉　朝月
親の意に叶ふて嬉し玉子酒　其月
病む親に先盃らせむ玉子酒　朝松
入相の鐘の音遠しちる紅葉　西都
船歌の聲も眠たし小春凪　鈍蝶
小春日や筏の上の洗ひ物　半韓
餅好も御氣に召たり玉子酒　一考
小春けや障子の外は鳥の聲　半韓
庭下駄に輕みの付し小春哉　同
温かき母の情や玉子酒　朝樓
山寺の庭は寂けり散る紅葉　悟竹
花も咲き相な野山の小春哉　其月
ちり掃き掃けば又散る紅葉哉　梅窓
濁壺の中に散り込む紅葉哉　其月
庭先に蝶も來て居る小春哉　都天女

高座二十吟

色々の狂花見る小春かな　德女
雛鶴の聲か添へけり小六月　紫水
折り梁て放す手に散る紅葉哉　其月
小春日や縮の甲干す嚴の上　同
椽先にあらひ髪はす小春哉　悟竹
散る儀にして奥庭の紅葉哉　半韓

山中鹿之助

第廿六回　西尾麟慶演

或日の事森之助と更科は相木市兵衛方へ參りまして、久し振りの對面でありますから、種々の話しもあり、互ひに過し昔時を語り合て居りましたが、不斗傍らを見ますると三歲ばかりにもならうと云ふ小兒が、ニコ〳〵と笑ひながら更科の許へ參りました、更科は之を見まして思ひ出したは、是まで尋ね探せし先年山奥にて猿共に失はれし我子に相違なし、是にて見るは不思議なりと思ひましたから 更「御孫さまに候かと尋ねますと 市「ヤア夫は眞の孫にはあらず、先年我孫は疱瘡にて取られたれば、一七日の墓詣の折から山の中に小兒の泣聲致せし故、餘りに不思議と能〳〵見れば、猿共が集つて此の小兒を鹿の脊に乘せて遊ばして居る如何なる事が不思議な事だと思ひしが拾ひ來りしなり鹿の脊にありし者なれば鹿之助と名をつけて實の親が知ざるによつて養ひ置たる次第」と聞て更科大に喜び 更「實は夫に別て猪小屋に於て養育せしが或時跡部の家來に取詰ら如何はせんと思ふ折から、我子を人質に取られ妾も夫が爲に生捕にされんとする時常日頃馴して置きました猿が來つて火急を救ひ、此小兒をば何れへか奪ひ去りしが、畜生の淺間しさ行衛知れずになり、其行衛を尋ねて次第に山奥へ這入り、知らず〳〵彼の窟へ參り、今まで居ります其內も忘れる暇とてはなく、如何はせんと其手蔓を失ひ其儘月日を過せしに、今又此處にて出會とは不思議の事で御座ひます」と述べまし〳〵其奇緣を喜びました 市「鹿の子と知らずして養ひ置しも弓矢の神の守護にやあらん、之に過ぎたる喜びなし、更科も暫くあつて 更「我々夫婦は日蔭の身の上にして、彼を連れ行かんにもなんとせん 森「然れば市之丞殿に子なきは幸ひ御身に遣はすとも敢て苦しくは候はず、我子孫を顧るの身にもあらずと思ひ切たる森之助の心底、市兵衛傍にありまして 市「否々子に代へる寶無し御身等の志しを得るまでは預つて養ひ置間、親戚の間がら少しも遠慮なく引取に來られヨ」と云ふを聞て森之助夫婦も大ひに喜び、然らはれ賴み申すと云つて其日は夫にて歸りました、茲に森之助は美濃守の前へ出でまして 森「承はれば我主君村上義淸は、當時越後春日山の上杉輝虎の許へ食客と相成りし由、此の上は二君に仕へる志は元より無し、今日迄命全ふしたるは皆是れ貴殿の情けなれば、我其恩義の爲に數年を送りたり、願くば我に長の暇を給はり度、と云ふを聞きましたる美濃守 馬「至極尤もの一言、御邊の胸中我元より見貫てある、夫に就て御身に一ッの賴みあり、迷惑ながら之を賴まれては下さるまいか 森「之は貴殿の仰せども覺ず、數年の間御身の恩澤を蒙り居る某しへ對し勿體なし、如何の事にも我身に叶ふ事なれば、何んなりとも力の限り盡し申すべし、と答へましたから馬場美濃守は大に滿足いたし 馬「某し近頃繩張致して新城を築き、茲に遠州大井川を隔て、西北に當つて今は牧ケ原と云ふ高山あり、之を控ゆる要害堅固の地にして諏訪ケ原と云ふ、今は牧ケ原と稱ふる處である或は牧の島の莊と云ふ、茲に北條の勢及今川の勢を觀察して押となし、馬場美濃守此城にあると聞かば北條今川も濫りに犯すべからず、依て貴殿代つて此の美濃守となり諏訪の城を守るなれば越後方へ敵對いたさずとも濟む事なれば何卒此の儀を承知下されたしと云ふ元より森之助二君に仕へないと云ふ位の武士で御座ひますから、信州村上義淸は愚にして國を維持すること能はず時節とは云ひながら已に上杉の方へ食客すると云ふ樣な味氣なきを悟り、何時まで弓矢の中に暮さん事心許なく、是まで美濃守の影武者となり、百戰百勝拔群の功を現はし武田軍に於て充分の高祿を給り、一方の旗頭とも爲すべき者ながら、跡部長阪等が怨みを蒙りたるを以て左樣もならず、ソコデ馬場美濃守の情けを以て影武者と爲したる者なれば、其恩義は深し然れば今更之を斷はる事もならず、如何はせんと暫し思案に暮れました、



見落す勿れ

歐米雜貨卸部開設

友

友田京城支店卸部

營業
メリヤス各種
帽子類各種
ショール各種
毛布類各種
手袋。靴下各種
首卷。タオル各種
其他珍品雜貨

特色
薄利ヲ主トシ新流行品ヲ多數ニ品質ヲ撰擇シ御客樣ノ滿足ヲ得ル事ヲ目的トス

開店の祝として十二月一日より向十五日間
御添物進呈可仕候

京城本町五丁目
關商店隣
電一〇五番

商會
五番

見落す勿れ

京城新報

長袖趣味多き總督政治

過日政況視察の爲め當地に來遊せし政友會所屬代議士松田源治君は其内地に歸るや馬關より始めて到る處總督政治の武斷政治なることを説いて居る、總督府官憲之を氣に病めるか、過日の御用紙は特電を以て暗に松田君の所説を打消さんとした、曰く松田代議士朝鮮より歸り總督政治を武斷政治なりとして攻擊するも何人も耳を藉さずと、總督府何が故に武斷政治云々を氣に病むか、御用紙は何が故に捏造電報を掲げて松田氏の所説を打消さんとするか。

噫武斷は決して罪惡に非ず

武斷は決して非立憲に非ず。

謹んで按ずるに皇祖神武帝の國を肇め玉ふや全く武斷的であつた、已に武斷を以て肇められたる國は武斷政治を以て榮ねざるを得ない、我國運は武斷政治の行はる時代に於て隆盛を極める、余輩は常に歷史を基礎として武斷政治を歡迎する。

夫れ獨り余輩は武斷政治を歡迎する、而かも現在の總督政治が武斷政治と稱するに足るか否かは疑問だ、松田代議士は曰ふ朝鮮に言論の自由なし、故に武斷政治なりと、大内代議士は曰ふ朝鮮の警察は憲兵を以てす、故に武斷政治なりと、嗚呼武斷政治も今や兩代議士に因つて實に狹義に解釋せられたるものかな。

余輩の定義に因れば武斷政治とは武人的大勇猛心を以て國利民福を計るにあり、此定義に從がつて現在の總督政治を律せんか、總督は武人なれ、警務總長は武人なれ、悲いかな總督府官憲は只だ是れ紈袴長袖者流の一團にして其行ふ政治や實に武斷を距たること甚だ遠し。見よ半島の開發に最も必要なるものは何を差置いても總督府豫算の增加でないか、而るに目下確定中の豫算はドウカ、聞く統監府時代のソレに比して一百萬圓を增すと、僅に一百萬圓の增額、之許りを以てしては到底十三道の開發は出來ぬ、併合が出來ても豫算が保護時代の其儘なら、半島經營其物も其儘に止まらねばならぬ。

噫如斯んば總督新政の意義はドコにあるか、總督政治にして眞に武斷政治ならんか、總督にして眞に武斷政治家ならんか、誰れにか遠慮を要せん、まづ第一に今日の豫算に三倍せる總督府豫算を中央政府に持出さねばならぬ、ソウしてソレを通過せしめねばならぬ、是れなくして武斷政治を布くと云ふも武斷政治家たらんことを期すると云ふも余輩は決して與みせぬのである、今や所謂武斷政治家の手腕に因つて決行を俟つ者中々に多し、曰く鐵道の速成延長、曰く地方道路の開通、曰く移出税の全廢、其他何々、之等の決行は半島經營上一日も忽にすべからざる事にして其決行は直ちに國利民福を增進するものである。

古人曰く義を見てせざるは勇なきなりと、余輩は總督政治が長袖趣味を脱して純然たる武斷政治となり、總督以下が武人的大勇猛心を發して半島經營の本旨を貫かんことを國民の名に因つて要望するのである。

東京電報（二日）

▲重要政務の伏奏　桂首相は昨一日午前參内長時間重要政務に就き伏奏する所ありたり

▲政友會代議士會　立憲政友會は本月十九日代議士總會を開會する事に決定し昨日夫々地方在住の同會代議士に對し上京を促したり

▲總督以下に陪食　東宮殿下には昨夕寺内總督以下滯京中の朝鮮在勤官吏を御所に御召に相成御陪食を仰付けられたり

▲陸軍進級と交迭　既電の外重なるもの左の如し

中將牟田敬九郎、谷田文衛、少將永田龜、渡邊祺十郎、淨川謙光、黑澤源三郎、山本延身、江原舖（豫備役仰付らる）少將加藤泰久、川谷政秀、加藤政義（休職仰付）

步兵第二旅團長陸軍少將 仙波 太郎
任陸軍中將補下關要塞司令官
步兵第三十六旅團長陸軍少將 須永 武義
免本職補憲兵司令官
野砲兵第二旅團長陸軍少將
免本職補東京灣要塞司令官 隈元 政次
步兵第七旅團長陸軍少將
免本職補步兵第八旅團長 石橋 健三
步兵第三十五旅團長陸軍少將
免本職補步兵第一旅團長 野口 坤之
交通兵旅團長陸軍少將
免本職補佐世保要塞司令官 太田 正德
長崎要塞司令官步兵大佐
任陸軍少將補兵器本廠長 鶴見 數馬
陸軍技術審査官工兵大佐
任陸軍少將補藝備要塞司令官
伊太利國大使館附武官砲兵大佐 牧野 清人
任陸軍少將補舞鶴要塞司令官 佐藤 忠義
陸軍技術審査官砲兵大佐
任陸軍少將補大阪砲兵工廠提理 村岡 恒利
陸軍省軍務局工兵課長工兵大佐
任陸軍少將補交通兵旅團長 井上 仁郎
陸軍士官學校生徒隊長步兵大佐
任陸軍少將補步兵第五旅團長 安藤 嚴水
步兵第六十六聯隊長步兵大佐
任陸軍少將補步兵第三十六旅團長 依田 昌兮
近衛師團司令部附步兵大佐
任陸軍少將補步兵第二十四旅團長 橋本 勝太郎
步兵第四十二聯隊步兵大佐
任陸軍少將補步兵第三十五旅團長 栗田 直八郎
第五師團參謀長步兵大佐
任陸軍少將補步兵第三十四旅團長 伊藤 瀬平
步兵第十四聯隊長步兵大佐
任陸軍少將補步兵第十三旅團長 宇宿 行輔
陸軍省軍務局步兵課長步兵大佐
任陸軍少將補步兵第七旅團長 河合 操
陸軍省軍務局軍事課長步兵大佐
任陸軍少將補第二旅團長 田中 義一
陸軍中央幼年學校長步兵大佐
任陸軍少將補步兵第十八旅團長 久能 司
陸軍省經理局建築課長一等主計監
任陸軍主計監補第十八師團經理部長 井出 治
第十八師團計理部長陸軍主計監
豫備役被仰付 平野 政行
步兵第三十八聯隊附步兵中佐
任陸軍步兵大佐補步兵第三十八聯隊長（京都） 邦彦王
步兵第六聯隊附中佐
任陸軍步兵大佐補步兵第六聯隊長（名古屋） 守正王
步兵第四十二聯隊附步兵中佐
任陸軍步兵大佐補步兵第四十二聯隊長 矢木 亮太郎
步兵第四十八聯隊附步兵中佐
任陸軍步兵大佐補步兵第四十八聯隊長 松前 正義
第十五師團參謀長
免本職 町田 經宇
野砲兵第三聯隊長砲兵大佐
豫備役被仰付 藤村 松次郎
野砲兵第六聯隊長砲兵大佐
任陸軍少將豫備役被仰付 佐野 勝次郎
輜重兵第十七大隊長中佐
任陸軍輜重兵大佐
重砲兵第六聯隊附砲兵中佐 小笠原 鍵吉
免本職
補對馬重砲兵大隊長 土屋 源市

▲宇佐川總裁歸期　滯京中の宇佐川東拓總裁は來る六日頃出發歸任の豫定なり

▲次官の豫算説明　若槻大藏次官は昨日午後政友會財政調査會に出席し來年度の豫算内容を説明したり

▲淺見紅齊の贈位　國學院大學に於て故淺見忠正二百年祭執行するに趣き聞召され特旨を以て正四位に追贈せらる

▲江木拓殖書記官　拓殖局書記官江木翼氏は三十日附を以て任拓殖局部長（二等）第二部長を命ぜらる

▲樫村博士の危篤　侍醫樫村博士病氣危篤の趣き聞召され病氣御見舞として御菓子一折を賜はり次て左の如く位階陞叙の御沙汰ありたり
侍醫正五位勳四等醫學博士 樫村 貞一
特旨を以て叙從四位授勳三等瑞寶章

雜報

檜垣長官の視察
（藥師川憲兵隊長談）

檜垣京畿道長官藥師川憲兵隊長の一行が管内の視察を遂げ一日を以て歸任したること既報の如くなるが右視察に關し藥師川憲兵中佐の語る處を聞くに今回の巡視は去る十一月二十一日より一日迄十一日間に亘り各郡面部落の新政に對する狀況及び地方道民の風情を視察したるが到る處非常の歡迎にて何れも軒頭に日章旗を掲揚し一見非常に熱誠を以て迎へたるの觀あり然れども其實情の如何は未だ知るを得ざるも要するに道長官の巡視に關しては地方官及び憲兵警察署等より通達ありしにも因るべし巡視中檜垣長官は非常の勉勵にて朝は七時より夕景に至るまで又甚だしき時は午後十一時頃迄宿舍に就かず訓示されたる等壯者も及ばぬ程なりき長官の各部落に到るや地方官を始め兩班儒生、地方民及び學校生徒等が出迎して長官に對し最敬禮をなし長官は之れを受け直ちに各々其職に勉勵すべき官の訓示を路傍休憩所に於て與へ學生等に對しては特に別所に集合せしめ父兄を後方に据へて教育に關する一場の懇篤なる訓示を與へ、耆老者及び孝子節婦に對しては長官個人として賞金を與へられたるが今回の巡視中には孝子節婦等六七名ありたり而して長官は所の何處を問はず村民の四五名以上集合するあれば直ちに馬を止め劉通譯官に囑して夫れ〳〵通譯の勞を取らしめたる程にて各地方民は長官の厚德に感佩し居りたり過般巡視中竹山より陰城に到る間に此の沿道を去る一里半の僻地より態々出迎したる學徒あり此日恰かも雨雪にて通路險惡非常に寒き日なりしが長官一行孰れも外套の被に深く顏を包み居たるに學徒の一名は敬禮後何れが長官なるやとの問を發したるに一行其注意周到なるに驚嘆し長官の孰れなるかを知らず無意味に敬禮するは不可なり總て此の學生の如く注意周到なるべしと右學生を賞揚し且つ一場の訓示を與へたり今回巡視中の奇談としては朝鮮人の敬禮及び日章旗にして朝鮮人は我等の擧手の禮を擬し左手を揚ぐるもの又は兩手を前に組むもの又は最敬禮を爲すもの等千差萬別にして又國旗の如きも彼等は單に赤い圓を書いて揭ぐれば事足れりとなし赤の蛇の目八角形の旭又は厚布の半面にのみ日の丸を畫き裏面の同は白きもの等あるを以て長官は特に國旗なる者の性質より其精神及其方法に關し訓示を與へたり云々

●犯罪人檢擧に就て

從來朝鮮に於ける委任に基く司法事務は完全なる法律制度を施行する能はず遺憾なるを免れざりしが今や全く日本帝國の版圖となり朝鮮併合の結果として此等幾多の事情を撤去して漸次帝國の法律は朝鮮に施行せらるべく目下當局者も鋭意舊慣舊法調査等に忙殺せられつゝあるが今般疑何もなくして該調査終了しなば朝鮮人は勿論内外人一般の生命財產の安固を保障せる上に於て遺憾なきを期するや明なり今茲に治外法權撤去後に於ける内外人一般の各種犯人檢擧に就ては何等特筆すべきものなきも數字上に於て世人の注目に價すべきは即ち居住内地邦人の數に比し犯罪事件多き事是なり事例を示せば京城地方裁判所管内の人口鮮人は七十萬人内地邦人約五萬人にして本年一月より六月に至る半ヶ年間に於ける犯罪統計は其の數に於て甚だしき差異を見ず其の他仁川釜山大邱及新義州地方等何れも京城地方裁判所管内のそれと大なる差を見ず然れども此等の如きは畢竟するに其局に當る執行官の機敏なる行動に基くは勿論なるも要は自警の策に過ぎず尚は外人の犯罪としては支那人を初め其の大体を網羅せられ殊に新義州の如きは日鮮清人等其の他仁川釜山等に於て昨今清國人の犯罪多々あるを見受けらる以上犯罪の多くは竊盜、賭博、詐欺等に關する罪を以て其の最たるものとし其の他一般外人の多數は何れも宣教師、牧師等にして何等刑事上注目すべきものなく反つて一般民の師表たり尚は民事事件にして昨今債權債務の係爭事件等最も多し云々（某當局者談）

●南大門郵便局統計

南大門郵便局十一月分の取扱金高如左

受之部	口數	金額（厘）
爲替	一〇八五	一九、三〇八、四五〇
外國爲替	一	二、六三〇
取立金	一一三	七四九、一七〇
貯金	一六九	五、一七一、三〇三
振替貯金	一七〇	三、九四二、七七六
歳入	一八六	二、三三三、四四七
拂之部	口數	金額
爲替	六四五	一五、六二三、九〇〇
外國爲替	口數	金額
取立金	三九七	四、一三九、七〇〇
貯金	二五三	三、三四六、五七三
振替貯金	五	一八五、四一五
歳出	三	九五〇、三六〇

●民團税制調査委員

京城民團にては税率の統一を計る爲め税制調査會を設ける筈にて其經費をも本年度豫算に計上しあるにも拘はらず民團廢止の議其筋にあるを以て中止し居りたるが民團の存廢期未定なるにより今度豫ねての計畫通り税制調査會を設けることに決定し昨一日古城民長より先づ大村保太、和田常市、中村再造、山口太兵衛、中島司馬之助、曾我勉、石井新、竹内菊太郎、海津三雄、笛川廣濟の諸氏に税制調査委員たることを囑托したり

●龍山郵便局の統計

龍山郵便局十一月分の取扱金高如左

受之部	口數	金額
爲替	一四五一	五一、九五五、七九〇
外國爲替	二	一三、五六〇
取立金	七四	九九二、九三〇
貯金	二七九	二、五六九、五〇五
振替貯金	一五三	一、六九三、九〇〇
歳入	三二六	三、九四四、六四七
拂之部	口數	金額
爲替	八七一	二〇、二八九、九九〇
外國爲替	二	二四二、四二〇
取立金	七	二七、六八〇
貯金	六〇九	九、六九九、二八六
振替貯金	八	六〇、二五一
歳出	二〇	三、四九〇、六五〇

●定例長官會議開催

二日午前十一時より總督府に於て長官會議を開きたるが有吉、木内、宇佐美の各部長官俵副總裁、明石警務總長、大屋、池田の兩局長官、安住書記官列席政務の打合せを爲したり

小學校增設の議

京城に於ける民團立小學校は南大門小學校、日の出小學校、櫻井小學校、龍山小學校（分校あり）にして之に高等女學校を加へて其生徒四千三百人あり來年度に於て入學者約八百名以上を增す豫定なれば現在の校舍を以てしては二部教授をなすも猶ほ不便なれば民團にては來年度に於て約三万圓を投じて新たに一校舍を增設する議あり次回の民會に於て多分決定すべしと

一昨日來の寒氣

一昨日來遽かに寒氣加はりたるの感あれども之れ數日前の雨天晴れ上り氣壓は滿洲地方に著るしく上昇し北西風强きに因るものにして大体の氣象に大したる變動なしといへり尙は二日本朝は攝氏零下九度九分に下降したるが昨年の本月二日は零下八度四分にて昨年とは大したる差はなき由なり

●韓銀砂金買收狀況

平壤韓銀支店に於て十一月中に買收したる砂金量額は四十七貫目餘に上り十月中に於けるものと殆ど同額なるが本年は一般に產出量額多きと且つ暖氣なる爲め例年なれば時下寒冷の節に際し精鍊其他の從業に能はざるより產出量額の減少すべき頃なるにも不拘依然として尠からざる產出を見つゝあるが此分にては十二月中に於ける產出額も前月に比し著しき減少を見ざるべしと

●民團立學校長會議

二日正午より當民團樓上に於て民團立學校長會議を開き來年度に於ける學校經營上の協議を遂ぐる筈にて何れも出席したれども生憎古城民長は病氣の爲め缺勤したるを以て正式の開議に及ばず峯尾助役代つて各自抱持の意見を聽取して散會せしが他日又更めて開議の筈

●名古屋觀光團着仁

名古屋商業會議所主催の觀光團一行は既報の通り一日午後十一時の列車にて着仁岩崎民長荻谷商業會議所書記長其他有志の歡迎を受け豫定の旅館旭屋に投宿二日午前十時岩崎民長加來商業會議所會頭の訪問を受け午後より市中を視察し同三時發列車にて出發せり

●德富猪一郎氏來京

京城日報社監督德富猪一郎氏は一日午後三時新橋發來鮮の途に就きたるが着京の上は當分當地に滯まり同社事務の整理を爲す筈なりと云ふ

●大西軍醫部長歸任

北鮮守備隊衛生視察の爲め出張中の軍醫部長大西龜太郎氏二日大邱より歸任

●大島聯隊長の巡視

大島六十五聯隊長は二日より一週間の豫定を以て管内巡視さるべしと

●横山支店長招宴

韓銀仁川支店長横山直槌氏は來る四日午後六時より仁川俱樂部に官民を招待披露宴を催すと

相場電報（二日）
（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（二月限）

神戸電鐵 京坂電鐵 鐘淵紡績 日本郵船 東京株新 大坂株式 同直取引（寄引 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同）

（前場）三七、九〇　出來不申　六〇、〇〇　六〇、〇〇　一〇四、五〇　一〇四、五〇　出來不申　一三二、二〇　一三二、九〇　一四一、二〇　一四一、六〇　一三九、〇〇　一三九、八〇

（後場）三八、二〇　三八、三〇　六〇、四〇　六〇、一〇　一〇五、五〇　一〇五、九〇　出來不申　一三三、四〇　一三三、一〇　一四二、一〇　一四一、七〇　一三九、八〇　一三九、三〇

▲東京期米▼

▲前場● 十二月寄十五圓二十二錢▲一月限寄十五圓三十三錢▲二月限寄十五圓五十四錢

▲大阪期米▼

▲前場● 十二月寄十四圓六十二錢止六十五錢▲一月寄七十二錢止同▲二月寄九十九錢止十五圓二錢

▲後場● 十二月寄六十七錢止不明▲一月寄七十四錢止七十六錢▲二月寄十五圓四錢止七錢

▲仁川米豆取引▼

▲前場● 一月限寄九圓三十八錢▲最高三十八錢▲最低三十三錢▲止三十五錢▲二月限寄九圓四十錢▲最高四十三錢▲最低三十四錢▲止三十九錢

▲後場● 一月限寄九圓四十錢▲最高五十一錢▲最低四十錢▲止五十一錢▲二月寄四十五錢▲最高五十二錢▲最低四十五錢▲止五十一錢

▲京城手形交換高▼

十二月二日　金高 一一六、九〇〇、六〇　枚數 四〇七

▲仁川港の船舶出入▼

▲神代丸　三日大阪より入港
▲安東丸　三日大連より入港

▲福州丸　同　大阪より入港
▲三笠丸　同　芝罘より入港
▲勝利丸　同　芝罘より入港
▲三笠丸　同　橫濱へ向出港
▲福州丸　同　鎭南浦へ向出港
▲安東丸　同　長崎へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　一日に於ける分如左
乘車客 六四五　下車客 六三三
乘車賃金 一四一三、四九
▲南大門荷物扱高　一日に於ける分如左
發送 二五噸　到着 三六三噸
送賃金 七二一、七一
▲龍山驛乘降客　一日に於ける分如左
乘車客 一七六　下車客 一
乘車賃金 二五一、三〇
▲龍山驛荷物扱高
發送 二噸　到着 一
賃金 四六、四九

▲治外法權▼

朝鮮 由がないとはヨク一部世人よ事だが、記者の實驗よりも自由、大自由があるのでナ城新報の如き過去の混沌時代に不自由を感じたが、今の時代には決してソウは感せぬ、尤も物は見樣、記者の自由の解釋は他と異なつて居るかも知れぬ▲新聞記者が連合して載寧鐵山の採掘權を出願したり、宮内府や官有地の拂下げを運動したり、莞島森林拂下げ運動の手先を勤めたりした時代に何の言論の自由があつたか▲嗚呼此時代には大きな聲では言へぬが新聞記者操縱係とも言ふべき大小官人が載寧宜し、官有地宜し、莞島宜しと相槌を打つてサモ新聞記者連の野望を遂げさせることに盡力するが如く見せ掛け下世話で云ふ美人局をヤッたものだ▲美人局に掛つた記者連中は馬鹿にされると知らずに恰かも兩國の百本杭で鯉を釣る先生の樣に非常の忍耐で今日は認可か明日は許可かと所謂官人の許へ百度も踏んだものだ、コンナ有樣であつたのだからヤレ言論の自由だのやれヘチマだのと言つて見たところが始まらない▲時世一變新聞が整理されて新聞記者が整理された、モハヤ官人と記者とが夜陰料店で密談をヤルなアの事も絕てなくなつた、記者の言ふ言論の自由は乃ち是からだ▲過日本紙は「今上の御治世中印度に迄」の社説を載せて發行停止を喰つた、其時本社の受取つた命令書には治安を妨害するものと認めとある、然るに今日の官報を見ると治安を妨害する虞ありと認めとある、ドッチガ本當か之れは伺度いだ、命令書と告示の意味が違つては困る▲仁川の穀物商と精米業者間の決裂はトウ〳〵最後に達した、自由競爭の現代には万事自由競爭で決すべしだ▲秋吉奥田老人マタ當年の勇氣ありだ▲秋吉の對總督朱安鐵田問題に關し官憲が反省しだしたソウだ、イヤナニ反省するのが當り前さ。

●木浦の新事業劃策

木浦居留民は目下種々の新事業を劃策し非常の大活動を試み居れるが右新事業中主なる問題は道路改修工事、公會堂の設立、無線電信設置工事、兩商海岸埋築工事、松岡公園新設及び病院警察署新築工事等にして右の内道路改修問題は目下全速力を以て是れが工事の進捗を圖りつゝあり公會堂は既に基礎工事に着手し無線電信は木浦島上に事務所を設くることに決定し既に事務所建築工事も將に竣成せんとし埋築工事は昔年來の懸案事業中最も盛んにして其進步の成績歷々として視る可きものあり又從來の病院は狹隘にして且つ不完全の點少なからざるにより今回增築することゝなり何れも不日成を了したるを以て近く大神宮の建設を爲すことに決定し夫れ〳〵計劃中也 由なるが同地居留民積年の問題たりし松岡公園の工事は既に憲兵紀念碑の竣

●學部編輯及び檢定認可を與へたる敎科書中に其内容時勢に隨伴せざるものあるより其敎授に關する注意書を發し各地學校に配布されたる頃なりと尙ほ學務局にては目下改訂に非常の力を注ぎたること既記の如くなるが該注意書は送せし殘部の冊數僅少なれば約八千餘冊の注意書は今回部數送濟みとなり昨今書に依るを得べしと

温陽温泉

●木浦の新事業劃策

木浦居留民は目下種々の新事業を劃策し非常の大活動を試み居れるが右新事業中主なる問題は道路改修工事、公會堂の設立、無線電信設置工事、南海岸埋築工事、松岡公園新設及び病院警察署の増築工事等にして右の内道路改修問題は目下全速力を以て是れが工事を進捗しつゝあり公會堂は既に基礎工事に着手し無線電信は木浦港上に中枢も盛んにして其進捗の成績歴々として觀る可きものあり又從來の病院は事務所を設くることに決定し既に事務所建築工事も將に竣成せんとし埋築工事は客年來の諸種事業中… 由なるが同地居留民積年の問題たりし松岡公園の工事は既に憲兵紀念碑の建… 狹隘にして且つ不完全の點少なからざるにより今回増築することゝなり何れも成を了したるを以て近く大神宮の建設を為すことに決定し夫れ〳〵計劃中也

甘い小料理店主 (四)



▽西大門外有志の請願

西大門外獨立門通り居住民有志は久保田、額賀、橋爪の三氏を代表者として料理店側の委員に交渉を開始するに先立ち一方安藤西大門分署長に面會し事情を陳述して便宜助力あらんことを嘆願し更らに左の如き請願書を總監部へ進達方を願出でたるに同警部も大に之れを諒とし直ちに其の進達方を諾されたり請願書に曰く

西大門外居留民一同

謹で書を警務總監部長閣下に呈し左に陳情仕候

本來西大小門外に於ける地勢たるや自然の一區劃をなし居るが爲め從來僅々たる居住者を見るのみにして現今に至ると雖も僅かに百有餘人の少數に過ぎず其の發展の遲々たる誠に…要するに土地の開發は…のみに依るにあらず必ずや…動機なかる可らず願ふに往時泥峴街に於ける(中略)然るに日露戰爭の結果は俄然長足の進歩をなし遂に今日の如き繁榮を見るに至る是れ則ち人爲的發動に基因する者と申す可く然らば西大門外の發展繁榮も此に人爲的動機を求めざる可らず(中略)頃日聞く處に依れば京城市內に散在する各料理店をして風紀取締の爲め城外一區域に集合を命令し即ち西大門外方面に於て適當の地域を撰定し出願候旨同業者へ御訓令相成候趣きに之れが撰定地の如きは居留民風數上多大の影響を及す處なる可きも別紙圖面地域(圖面畧)の如きは御訓令の要旨に抵觸せざる最好の地域と確信仕候(下畧)

而して料理店側委員と數次會合せしも交渉捗々しく進行せず最後の九月十七日の會合は午後十二時迄も繼續せしが鶴田、廣津、岩間等は居住民側の代表者久保田氏等が營利一方の目的に出でたるものとし穩かならぬ言語を弄せしも久保田氏等は飽迄も圓滿に局を結ばんことに熱中し前記請願書の主趣を以て決して個人的營利の觀念なきを辯疏せしも彼等の肯く所とならず談判は遂に不調と為りし解散せしが委員の一人長松吾作は此の交渉の圓滿に進行することを以て各料理店の利益なりとなし夫れに就ても岩間等の如き主張にては到底契約成立す可き筈なしとし自己一人にて翌十八日久保田氏宅を訪問し今一應談判に應ぜられんことを求め其の承諾を得たるより岩間、廣津、鶴田等を説き双方の間を斡旋して二十日午前九時を期し更らに最後の談判を自宅(田舍家)に開始し百方調停に努めたる甲斐ありて双方互讓することゝなり下の如き假契約は成立したり

松葉拍子の貯金　清水席

▽松田源治氏の情況調査

南山町二丁目の清水席と云ふはツイ先頃迄壽町の隅つこに新米の緣日商人と云ふ格で甚だしく虐待された形の至極少さくなつて居たのだが稼ぐ妓輩が水入らずの親類同志と云ふ處から一切萬事外見が要らず申し合はしてミッチク所謂消極的に勉強の効顯はれて今の處へ乘り出した次第なるが其の創業時代からの元動として洗酒らした新緬の如に小皺を伸して幅を利せて居る松葉と申すは今こそ婆さんに成つた様なものゝ生れた時は人並の赤ん坊で歳が經つに從つてツイ今の様なれ婆さんになつた譯と因緣を聞くと誠に以て氣の毒な次第なるが此の妓も一度あつたと云ふ若い時はナカ〳〵の全盛で故郷の徳島では隨分鳴らしたものだが夫れ許りでは飽き足らずソロ〳〵大阪へ這ひ出して少時は稼いで見たがドウモ徳島とは勝手が違ふので思ふ程に行かず世話を仕様と云ふ人があるのを機會に仕舞家の粹な生活を續けて居たが尻が温まるに伴れてチョイ〳〵隱し食ひが嵩じては阿漕の浦に曳く網の目ならぬ旦那の目に止りた定まりの首となつたので流れ〳〵て此所許に此の始末愈々以てれ氣の毒と思ふは大間違の大安い專問に土地の方なら五圓旅の方なら十五圓と定價表を作つての勉強に相聽以上に繁昌してるがツイ先日政友會の代議士松田源治君此の噂を聞きて不憫のものよと一夜京城ホテルに召させられ情況調査の上た定まりの十五圓を下し賜はつたにぞ婆さん大に勿体ながり無駄に費つては相濟まずと其の十五圓を右から左り記念の爲めに郵便貯金として預け入れたりとは年の功より龜の甲若い妓輩によい手本なり

●建築技手の詐欺

度支部建築所技手仁川出張所員が收賄罪に因り其筋に拘引せられし事は既報の如くなるが該事件は京城地方裁判所仁川支部に於て豫審愈々終決して京城地方裁判所檢事局に移送せられ南角檢事の手にて公判に附せられしが事件の大要を記せんに關係者は靜岡縣加茂郡南上村字河合野九十六番地當時仁川山根町税關官舍居住元建築所技手山田喜作(三十)德島縣那賀郡嗣井村大字榕四十三番地當時龍山祝町七十七番戸鍛冶職山張源吉(四六)山口縣大島郡家室西方村四百二十七番地當時仁川花町三丁目三番戸土木建築請負業濱田庄右衛門(三三)にして山田喜作は明治四十二年十一月頃より建築所技手として仁川出張所に勤務し居たるが四十三年五月二十一日第二號浚渫船修繕工事を山張源吉が金千六百九十圓にて請負ひたるを仁川建築出張所にて監督する事となり山田は常に現場に臨み工事監督に從事する中工事上便宜を與へられたる禮として金二十圓を山張が本年六月十一日山田に提供したるに其の際山田は受領せざりしより數日を經て山張は同額の呉服券を仁川松屋呉服店より買取り山田の自宅に持參して山田の妻に渡し置きたるを其の儘受納し又設計書の記載外の船內事務室の窓掛を設置する事を山張に迫り山張が斷りたるも聞入ず自分に於て買求め設置するに付該代金を差出す可く命じ金二十圓を代價として出金せしめ之を騙取し又本年六月十八日建築所仁川出張所々管に係る浚渫船製造を濱田庄右衛門が金五千七百十圓にて請負ひ此の工事監督主任山田は工事中九月中旬請負人濱田に二連發獵銃購求を依頼したるより濱田は自分の工事監督主任なるより熱心に諸所探索中九月二十九日仁川本町四丁目今村方にて金三十餘圓にて買求め之を山田の自宅に持參し妻に渡したる件なるが豫審の結果賄賂收受の點は韓國政府當時の出來事にて法律上罪とならず免訴せられ詐欺の點に付有罪として公判に付せらる

●然も有可笞

西部中洞居前郡守金善一方傭人京畿道楊州郡邑內生れの金聖根(二〇)は蝶よ花よと愛して爲た無二の妻が去る十月中偶々無斷家出してより腹が立つやら悲しいやら此の上は例令火の中水の底までも捜し出さんと思つたまでは左もあるべき夫婦の情愛だが先づ嗚捜査妙法として京城にて酒屋か宿屋を初め諸所より來た御客に一ヶ所の人相性質等並べて問ふたら行衛の判るは受合ならんと思つて見ても資金の無いのでチイパリしが傳て主人金善一が始興郡東面朴炳昇に米十石を預け居る事を知り居るより主命と詐稱して朴炳昇より該米を麻浦まで持ち出させて受取り金四十六圓にて他に賣却し是れさへあらば鳴にもと喜び勇んで逃げ亡せんとせしが矢張り鳴に緣薄いと見ねて直樣縛られて西部署に引致されしとはどちらにしても笞もあるべき筈

●強力無雙の窃盜

昨年十二月頃より南大門驛大貨物取扱所保管に係る玄米及白米叺一俵若くは二俵宛毎月五回若しくは八回宛盜難に罹るより驛長は勿論貨物主任等の心配一方ならず爲めに嚴重に注意を加へ一方警察署に犯人探査を依頼し南部署に於ては司法主任より刑事に命じ若し之れが捕らざれば刑事の無能を叫ばるゝ旨嚴命したるより擔任せる長野岸兩刑事は極力探査中の處去月三十日午前四時頃同驛構內石炭堆積場の小蔭より叺の洩るゝより差し覗きしに屈強の男居るより何者かと呼びたるに一目散に逃げ去りたるより追跡して古市町電車分岐點にて逮捕せんとせしに仲々繩にかゝらず兩刑事を相手に格鬪三十分後にして逮捕したるが犯人は京畿道水原郡烏山生れ鄭龍勤(三六)にして八斗若しくは九斗入り叺を一人にて窃取し全部穀物屋に持ち行き賣却したる由なるが贓品總額六百圓以上なりと

●大賊南部署を脱す

賊と化して各店頭に扮して市內を彷徨し夜間は直ちに居間に萬引をなし又は深更他家の扉を排して金品を盜みたる大賊北海道小樽生れ菅原隆夫(三)外一名は一週間前南部署の手に捕へられ拘留されて居たるが去る廿九日午前七時頃隆夫外一名は洗面所にて顏を洗ふ時監視巡査某の隙を覗ひ雲を霞と逃げ去りたるより南部署にては全力を擧げて其捜索に赴きたる結果昨日一名を永登浦にて捕縛するを得たるも隆夫は今猶ほ網に就かず南部署は目下非常線を張りて捜索中なりと云ふ

●學部編輯及び檢定認可を與へたる敎科書中に其內容時勢に隨伴せざるもの…あるより其敎授に關する注意書を發し各地學校に配布されたる事なりと尚ほ學務局にては目下改訂に非常の力を注ぎ…たること既記の如くなるが該注意書は…の冊數僅少なれば約八千餘冊の注意書は各部發送濟みとなり昨今…

●友田支店の開業

今回本町五丁目御幸商店の隣りに開業したる友田支店はメリヤス、帽子、ショール、毛布手袋、靴下、タオル類の御賣專業なるが本店は佐賀市にあり店主は友田德一郎氏にして前記各種商品多數に取揃へあれば如何に大口の注文にても直ちに商談に應ずべしと云へば斯業者は取りて至極便利なるべし

●珍花延命草無代配布

該草は黃金草と同じく祝花草の一にして花色は紅紫白等の數種あり花形は千重大輪にして盆草用其他盆栽の根締として最も花界の大王なり今回長野縣下高井郡延德村高井園藝會草花部にては三本を一鉢となし同好者には箱代送料共實費十二錢を送らば菊咲大輪水仙を添へ速に送苗す尚二組は二十二錢と云ふ

●淨土青年會講演　三日午後七時より明治町淨土宗開敎院に於て左の講演あり

一、生?　水谷開敎師

一、異撃なる生活　茂木會友

●明石總長の告諭

明石總長は寒天火氣を使用するに際し溫突煙突ランプ炬燵作業場其の他に於て焚火強風の際火氣の使用方法等に就て今二日告諭する處ありたり

●帝室博物館の盜難

昨日午前二時頃帝室博物館に窃盜忍び入り古金銀貨幣十三萬圓を盜み去りたり警視廳は全力を注ぎて犯人の嚴探中なり(二日東京電報)

廓のうわさ

櫻井南山樓主は收支償はずとあつて見限りをつけ抱へ妓翠南榮、玉榮、富榮、歌枝、南絲、小龍、南勇、衣重、鈴香の九名を全部玉家に引繼ぎ自分は興業專問と相成候▲龍山桃山遊廓は曜樓は同地を見棄てゝ新町月下樓跡に開業致し候▲井門支店の濱次はれ職の張り通しに御座候夫れも其の筈同妓は文學と音樂とに趣味を有し居り候とか▲同樓の幸子は此の頃去る辯護士に可愛がられ居る爲め京城樓の茶羅子より怨まれはせぬかと心配致し居候▲同樓の君代子は此の頃少々色氣づきたる如に御座候前途は有望なり▲玉家の米駒は高田ダイナマイトの無罪放免若しくは刑の執行猶豫を祈り居候とか序に同人の豫審は既に終決致したる由に候▲京城樓の月子は重大なる負傷を蒙り北米倉町の工藤病院に入院致し候▲大桝屋の百代は南大門通りの花形商人を盛んに流連致させ居候(廓雀)

▲平民文庫▼

▲朝鮮新聞京城支局詰編輯員の渡邊某と云ふが其の新聞を濫用して岸川某なるものゝ家庭の紊亂とかに乘じて金錢を恐喝騙取した罪で檢事局に送られた相だ、同社長の萩谷さんが過日警察に呼び付けられて叱られたと云ふ内には此れも含まれて居たのだらう何んにしても萩谷さんには氣の毒なことだ(同情生)▲○○新聞の取次販賣をして居る…

瀛船に極く強き御婦人に(御用心)▲瀛車…る川口某は僞造兌換券行使の前科者だと云ふ話ですよ▲東京方面にれ歸りの御方あらば當方にて旅費を負擔し御相談致度事あり御望みの方は本欄にて住所氏名を御報を乞ふ(一官吏)▲太平町二丁目太平館のれかみさん毎晩れ樂み併し樂は苦の種とやら云々の投書は沒とす(係)▲井門支店は遊び心地の善い家だが仲居のれ福が注文もせぬ酒をドシドシ持ち込んで自分一人矢大臣を極め込み醉つたが最後客を客とも思はず管を卷くのけ閉口だ主人公改良し玉へ(壽町會社員)▲龍山鐵道の山根君住所至急れ知らせを乞ふ(社內松久)▲過日京城日報に紅葉會々員としてはがき集に投書がありました僕も同好の士自會は何町なるや入會したし(歌留多狂生)▲歌留多狂生、一娘の兩君に答ふ成希望に應ずべし(係)▲開度生よ本町五丁目三浦時計店の美人は萩の生れにてなか〳〵なる者にて候金筋中にも親類にて金を絞られし御方も少なからぬ由一度歸國してマタ〳〵れ金儲けに這つて來たの美男子諸君は特に氣を附け給へ(シツテル生)▲十百姓君對某羅紗部員との問答は拙者に於て預り(係)▲毎日曜日に龍山鐵道部員が狩獵に出掛ける各線とも例のパースである而して此の連中は肝腎の乘客を其方退けにしてストーブを占領して他人に不愉快を感ぜしむる大屁權平君の一考を煩はす(一乘客の一人)▲夜間郵便受函以是非排へて置いて貰ひ度い叩き起す郵便屋さんも困るし寢て居るのに起きねばならぬ家の者もつらくはあるまいかね—(受信總代)

今日の運勢

十二月三日舊十一月朔日　七赤大安壬寅　平　三りんぼ△一白　婚談旅行金融の業務及子孫の事を擧ぐるに吉大事新事は見合せの事負傷衛生に注意すべし△二黑　家庭家族の事…累あり勸誘推奬に陷り累を貽すあり△三碧　取引に付き見込違ひ多し建築農林業に就ては進んで吉△四綠　盜難遭失防ぐべし婚談共同組合に吉其他手控への事△五黃　貸借保證共同組合の事紛爭相運起り易し新事旅行見合せたるべし△六白　商人には利得ある日なり旅行移轉改革整理遂行に吉其他手控への事△七赤　新事見合せの事相談婚談委託締約熟議凡て効無し△八白　他人の世話若くは要求懇願にあふ事あり保證受印媒介中裁事に忌む其他平靜△九紫　諸事謹慎手控への事

社告

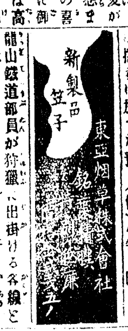
▲高等記者一名採用

希望者は履歷書携帶來社せらるべし但し確實なる身元保證人を要す

十二月　京城新報社

獨逸語、英語　教授

書生入用　十五歳以上十八歳以下
南山町二丁目　楢崎齒科醫院



諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入
ペンキ塗工事大勉強請負
永樂町二丁目　赤門通り　棋野工舍

新荷着廣告
米國スタンダード商會特約品
石油暖爐、空氣洋燈、火止石油
其他軍人用附屬品各種
歐風室內裝飾
家具製造販賣
京城本町三丁目　森安吉商店
電話四百三十番　振替貯金口座朝鮮一五〇番

歲末年始の御贈答品に付ては何卒一度御越の上一大陳列場を御隨意御一覽被下度品揃と確實とは弊店の特色に御座候
尚種々見切品も有之候
洋酒食料品　紙卷葉卷煙草　化粧品類　直輸入
京城大漢門側　エル、ロンドン商會　電話九九五番
○歐米商品は何品によらず薄口錢にて輸入御取扱仕候

京城居留民團公文

京城居留民團告示第四十四號

京城居留民團立高等女學校ハ南山町二丁目新築校舍ニ移轉ス

明治四十三年十二月一日　京城居留民團民長　古城管堂

公告第四十六號

縊死者　住所居所氏名年齡不詳　日本人　男一人

相貌
一丈五尺三寸七分
一頭髮薄ク五分刈
一顏細長キ方
一鼻目耳並
一口小ナル方
一鬚髯アルモ剃落シ一分位生ヘ腮毛ニ白毛ヲ交ユ
一中肉ニシテ勞働者体ナリ
一推定年齡五十四五歲

一白紀州ネル襦袢　一枚
一佐野村ト染拔キタル印文字入木綿紺衣　一枚
一半天　一枚
一同上無印半天但裾ニ波模樣アリ　一枚
一茶色羅紗製鳥打帽子　一個
一木綿形付兵兒帶　二筋
一紺セル地ノ股引　但内一筋ハ股引ヲ縮メ居ルモノ
一朝鮮草履ヲ穿チ左足ニ黑ノ靴足袋ヲ穿ク　一枚

右ハ其筋ニ於テ相當檢視濟ノ上引渡サレタルモノニ有之候ニ付心當ノ者ハ當所ヘ申出ラルヘシ

明治四十三年十一月三十日　京城居留民團民長　古城管堂

縊死場所　京城南山好道園內桃源亭南上方約一丁ヲ隔ツル松林內

第四十七號公告

一金二千圓也　當民團費ヘ

右ハ今般韓國銀行ヨリ金二千圓也本年中二回ニ分チ寄附申出相成茲ニ第二回分ヲ受領候ニ付此段公告ス

明治四十三年十二月二日　京城居留民團民長　古城管堂

廣告

市內目拔の場所にて寫眞館讓渡し

御望の方は本町一丁目南部警察前中島安邦方へ

購買入札公告

一電話單線室內ラバー線九千碼外四點

右購買ヲ競爭入札ニ附ス詳細ハ十二月二日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

明治四十三年十二月三日　朝鮮總督府通信局

溫陽溫泉

●諸公債諸株券　現物賣買　迅速確實に御取扱可申候兼業　銀行・信託・洋服御用達　京城本町三丁目　大坂野村德七代理店　田中友吉商店　電話九三九　振替(タ)

新學期　開講
目下入會金全免其他各種の特典あり中學科を完全に獨習して成功の基礎を造らんとする人は速に申込みあれ入會の好機は刻々に去らんとするなり

文部大臣の賛辭を得たる中學講義錄●新入會者既に參萬に達せり
大日本國民中學會
講義錄規則書見本つき申込次第進呈
東京神田駿河臺　電話本局三〇〇四番　電話本局三七〇七番
會長　前文部大臣東京市長　尾崎行雄

卒業生特典
本會卒業生は尋常中學校五ケ年終了者同等の學力を得都下三大學專門部特科に無試驗入學するの外學資の貸附を受けて高等の學校に入るを得べし

鐵冷温泉　開業御披露
秋冷の候各位益々御清榮之段奉賀候扨て當温泉儀本町一丁目に於て營業仕居候處豫て長谷川町（韓國銀行北横）に新築中の家屋今般落成致し候に付本月九日より移轉從來の如く下宿並に貸席營業仕候間舊に倍し御引立の程奉希候也
京城長谷川町一丁目（新築韓國銀行横）
旅宿并に貸席　鐵冷温泉　電話一四一番

大賣行き　廿五版
明治四十四年御壽寶　明治四十四年天氣豫報
明年の開運方法に御壽寶は農作及人々運氣一切年中必要吉凶五十餘通本書に依て決せよ天氣豫報は天氣日々晴雨氣候必要四十餘通
何人も御實創刊十年祝に付向三ヶ週中注文の方に景品を呈す
進呈
一冊金十五錢郵税二錢　一冊金十五錢郵税二錢
發兌　東京本郷區高島易斷講究本部　神誠館

石炭
唐津石炭各種　三池粉無煙炭　筑後炭各種　煽石　鍛冶屋用　粉炭
仁川支那町一丁目（運輸部横）　八田利三郎本店　電話六十二番
煉瓦並に製造廉價販賣　石灰生石灰フカシ灰製造販賣
龍山元町一丁目　八田石炭部
八田利三郎支店　電話五五三番

家傳　名灸（といや）
●うちみ　くじき　はねつき　特にかつけ　胃腸病　專門　毎日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戸　荒川マッサージ院

當店直輸入酒精アルコール久敷品切の處今月十六日多數着荷に付何卒不相變御引立被成下候尚今後は毎月續々輸入可仕候間再びかかる品切等の御迷惑は相掛不申茲に謹告候也
仁川港花町一丁目
●酒精着荷　坂倉支店

文房具　和洋紙　測量器械
京城本町一丁目郵便局前
シノサキ本店
並賣次營中業候　電話一六四八番　振替朝鮮一五四番

笹川臨風先生校●勝屋五橋先生註解▲特價金六十五錢（郵税金六錢）
最新刊　譯註解　孫子呉子
◎支那に武經の七書がある、孫子と呉子とは其中で最も尊重せらるるもの、彼の六韜三略の如き僞書とは趣を異にす、孫子と呉子とは兵法を説ける書なれども其精神を處世の上に應用せんか、必ず成功を期すべし、軍人は勿論、激烈なる生存競爭塲裡に活動せんとす者は、求めよ本書を本書の秘訣を
◎本書の特色。本文の外に讀方。頭註。大意。附録として、如何に初學者でも讀め升
天金クロース惣上製美本全一冊定價金七十五錢
笹川臨風氏校
發兌　東京神田錦町二〇五　振替東京三四〇九番　二松堂書店
ポケット菜根譚　本書は論語と並んで最も尊く高く評価し世の修養書として本書に盡きるものはない　定價五十錢　郵税六錢　東京日本橋區本町二丁目　振替東京三一〇一番　六合館書店

移轉廣告
一弊店等日鮮合邦と京城府發展に伴ひ從來の場所にては不便利に付左記へ假新築移轉仕候間舊倍の御引立の程奉願上候且弊店等の店前には日本人朝鮮人支那人等共に多數開店卸小賣に係らず勉强營業致させ居候に付食料品は全部立所に取揃候間至極便利に有之候共に御引立願上候
京城南大門北米倉町
（カ）辻本嘉三郎商店　本宅旭町一丁目　電話六四一番　振替口座京城三八番
（丁）池尻林太郎商店　電話三五一番　振替口座京城一四七八番
仲買人一同

齒科診療
京城南山町二丁目（天眞樓隣）
齒科醫　楢崎東陽　電話千三百六十番

和洋老物各種
新案　丸たびもた　堅牢で康價
京城本町一丁目　丸一　案原商店　電話四八三番
丸出張店　京城本町五丁目遊廓入口角

秋田木材會社製品
杉材各種　松材各種　亞鉛平浪板　セメント　石灰　フエルト
群山　（今）大澤商會　本町通　電話一五四番

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所　京城明治町一丁目（電話一五四九）

安藝産物　宮島細工專門商
盆類菓子器其他種々大勉强仕候
京城明治町勸商場内　大野木商店

測量機械、製圖道具、物理化學機械　戸外室内運動具、体操用具、模型標本類　美術繪畫用品、寫生携帶用具　和洋紙帳簿
新案韓語栞　全一冊　定價八十五錢　郵税八錢　郵券代用一割増　菊判總クロース金文字美製
文房具商　發行　發賣元（太）　京城本町三丁目　平田善太郎　電話一一五番

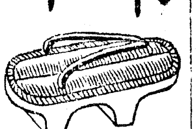
增築落成
高等御下宿　横松館
各室淸潔洗湯設備あり舊倍御愛顧之程奉願上候
京城西小門通り　電話一五五番

京城梅毒病院
京城相生町南門湯横（電話一二九四番）
自午前八時至午後九時
●花柳病專門、附、痔疾一般●入院隨意●
院長　醫學得業士　蘆田耕平

營業科目
和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デレシン　穀物食鹽　諸雜貨類　穀物類
賣販約特
東京ランバーソ商會代理店　東京中外アスファルト株式會社代理店　東京千代田生命保險相互會社代理店　東京博文館發行書籍特約店　東京金港堂發行書籍特約店　東京國定教科書共同販賣所特約店
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目（電話三〇番）　出張所　京城南大門通三丁目　電話六九二番

齒科治療
本町六丁目（蕎そば横町）
ドクトル　中村安子
女子見習募集委細面談（電話一五八三）

諸金網製造販賣
鑛山用　製紙用　精米用　織綱一式　篩類一式　其他御好次第
右今般當店監獄作業部ニ於テ製造開始致候ニ付多少ニ不拘御用命仰付被下度候也
和洋金物商
京城本町五丁目　釘本藤次郎本店　電話四五番電信略號「ク」　振替貯金口座朝鮮二五六番

東京　足袋

本店東京　京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋　藤井出張店　電話二百〇五番

正札付大安賣　厘毛引なし　安心して買へ升

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米、和洋ローソク上白シメ油㊇醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨　御問屋　京城本町六丁目　西崎嘉七本店　電話二百十番　電略（ニカ）又ニ　振替貯金口座朝鮮七番

洋和　御料理
會席御一人前代六十錢　御肴六品御酒二本付
洋食御一人前代六十錢　六皿ビール一本付
すき燒御一人前代二十錢
高等御しるこ　天ぷら　仕出し仕候
東京　たちばな
京城南大門通三丁目東裏

純良消毒牛乳
京城東四軒町　岡野牧場　電話千六十九番

長崎流
○しるこ　○茶碗むし　○むし壽し
（出前も御好に應じ可申候）
南山町二丁目（南山湯上隣）
松ぞの　（電話一一八五番）

宗齋流割烹
すゞ津祢
南山町一丁目　電話千五百二番

神易方位
●神は易に誠を傳へ賜ふ●方位は縁組、轉宅、旅行、新築等の吉方
京城南米倉町三十四番戸和樂園の下
一心堂

瀛船出港廣告
月串、喬洞、海州行
瀛船　天草丸　安來丸　成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通（電話四一九）　柴田回漕店

㊎　芙江公州　間出帆廣告
芙江發　毎日後一時（京城方面ヨリ急行接續）
公州發　毎日前七時（京城方面行急行接續）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店へ御尋被下度候